

ISO/IEC 27001 (ISMS) フォーマル研修



マネジメントシステム審査員資格とは？

審査員資格は、組織が構築したマネジメントシステムの審査を実施する方のための資格です。マネジメントシステム審査員資格は、第三者審査を行う方のベースラインとなる力量を有していることを示しますが、第三者審査時にしか役に立たないのでしょうか？そんなことはありません。資格を活用できる場面は、他にもあります。

情報セキュリティスペシャリスト（セキュリティ人材育成） 管理技術者・監査リーダー育成 のために

事例1：自社のマネジメントシステム事務局員や担当者のレベルアップ

マネジメントシステムの運営に、事務局やセキュリティ担当は大きな役割を果たします。事務局の役割として、内部監査・マネジメントレビューの推進、審査対応、目的・目標の進捗管理など様々なものがありますが、これらを推進するに当たり、マネジメントシステム規格の知識はとても役立ちます。JRCA 承認研修を通じて、基礎的な知識が習得できます。これらの研修は短期集中で、効率的な知識と技能の習得ができます。

事例2：第一者監査、第二者監査への対応（監査品質の向上）

研修では、座学研修だけではなく、ロールプレイなどの実技研修も組み込まれており、実技研修の方が多くなるように設計されています。この研修を通じて、ISMS の実装技術や監査の進め方が習得できます。研修では、JIS Q 19011:2019 マネジメントシステム監査のための指針という規格を基本として設計されています。この規格は、「内部監査」及び「外部監査（第二者及び第三者）」の指針を示した規格となっており、第一者監査から第三者監査までの、あらゆる監査に対応できる規格です。（監査と審査は同義です）

事例3：監査員としてのレベルアップ

審査員登録は、「審査員補」という段階からスタートしますが、その後の監査経験を積むことで、「審査員」「主任審査員」へとランクアップが可能です。監査経験は、第一者監査（内部監査）、第二者監査（委託先監査）も対象です。審査機関での審査ができない場合でも、第一者監査、第二者監査を通じ、力量アップを図ることが可能です。また、審査員登録は、審査員のベースラインの力量を有していることを証明するものとしてセカンドキャリアとして有効な資格です。

事例4：ISMS 関連事業推進者としてのレベルアップ

審査員として日本規格協会グループ日本要員認証協会（JRCA）登録審査員として資格を取得することにより ISMS コンサルタント・アドバイザーとして関連事業を推進するためのレベルアップとともに、登録証によりその力量の証明となります。関連事業の一つとして、内部監査業務を受託するなど多彩な業務展開が可能となります。

事例5：CPD を通じた力量維持・向上

毎年、CPD（Continuing professional development、継続的専門能力開発）の提出が必要となりますが、自己学習などを通じて、審査員としての力量の維持・向上を図ることを目的に実施するものです。JRCA 登録を維持しているということは、毎年、力量の維持されていることを第三者的な視点で確認されていることの証となります。（MSQA では CPD 研修コースを定期的に開催しています）

以上のように、様々な場面でマネジメントシステム審査員資格が活用できます。

JRCA が行っているアンケート結果では、審査員補で登録をいただいている方の中の 80%弱の方が組織に所属をしているという回答があり、既に数多くの組織で活用されています。



受講料： ISMS フォーマル研修 200,000 円（会員価格 180,000 円） 別途消費税

MSQA 会員からのご紹介でご受講の場合は特別割引が適用されます。

受講申請： 1.[JRCA 承認フォーマル研修受講申込書(pdf フォーム)]に必要事項を記載し事務局に送信

2.請求書発行（原則開催 2 週間前までにお振込み）

3.教材発送（リモート開催の場合はご希望の宛先に教材一式を発送します）

受講条件： 1.オープンコースは1名からご受講可能です
2.ISMS について基礎から学習可能です（未経験者の受講可能）
3.40 時間以上の学習が求められますので全日受講しなければなりません
4.資格（日本要員認証協会[JRCA]）登録に条件があります。
資格登録については JRCA ホームページをご覧ください：<https://www.jrca-jsa.or.jp/jrca/>

企業内開催事例：

製造業系 SI H 社	毎年定期開催しビジネス資格として部門管理者を育成、クラウドセキュリティ審査員研修も導入するとともに、企業内で独自の CPD 研修開催を支援しています。 2025 年 3 月 12 日現在 179 名が受講されています。	東京・神奈川・大阪オフィスで開催 ISMS フォーマル 5 日間コース採用 CLS フォーマル 2 日間コース採用 いずれも講師派遣での開催です。
製造業 F 社	管理技術者と内部監査員育成を目的として予算を計上して ISMS フォーマル研修を企業内開催しました。資格維持を目的とした CPD 研修開催を支援しています。2025 年 3 月 12 日現在 12 名が受講されています。	前半 3 日+後半 2 日をリモート開催し、最終日は指定会場で座学及び筆記試験を実施しての開催です。内部監査員力量向上を目的とした支援を実施しています。
サービス業 N 社	ISMS 認証取得後、管理技術者育成を目的として開催を決定。今後は、関連事業者への研修サービス開催など関連事業創業を視野にさらなる導入を検討されています。	前半 3 日リモート開催し、後半 3 日間はオフィスに講師を派遣して開催 最終日はオフィス内で筆記試験を実施

他の研修機関との違いは、ご好評頂いているオリジナル教材にあります！

No.1

ISO/IEC 27002:2022 対応
情報セキュリティ管理策実践ガイド
Information Security Controls

情報セキュリティ管理策実践ガイド
ドーナツ冊子

No.2

Information security, cybersecurity and privacy protection
ISMS推進マニュアル
活用ガイドブック
JIS Q 27001:2023 対応 3.0版

ISMS推進マニュアル活用ガイド
ブック3.0版一冊子

No.3

Guidelines for auditing management systems
マネジメントシステム監査（審査）
実践ガイド
ISO 19011:2019 対応 3.0版

ISMS監査（審査）実践ガイド
一冊子

ガイドは本研修における主要教材で、単なる教材とは異なり実践的で運用管理者向けに編纂しています。

2025 年度 ISMS フォーマル研修開催日程

開催月	前半	後半	開催方法	最終日・試験	開催時間	状況
2025 年 6 月	11 日～13 日	18 日～19 日	オープンリモート開催	20 日集合	9:00～18:00	満席
2025 年 7 月	7 日～8 日	9 日～10 日	インハウス5日間	11 日	9:00～19:30	—
2025 年 8 月	18 日～20 日	21 日～22 日	インハウス5日間	23 日	9:00～19:30	—
2025 年 10 月	15 日～17 日	22 日～23 日	オープンリモート開催	24 日集合	9:00～18:00	受付中
2025 年 12 月	10 日～12 日	17 日～19 日	オープンリモート開催	20 日集合	9:00～18:00	受付中
2026 年 2 月	18 日～20 日	25 日～26 日	オープンリモート開催	27 日集合	9:00～18:00	受付中

- (1) 研修期間は、座学研修と実技研修に充てられる時間から成り、少なくとも 40 時間以上の受講が必要です。
- (2) 筆記試験及び食事、休憩又はその他自由時間は、このコース期間の計算には含まれません。
- (3) 研修コースは連続して実施しなければなりません。ただし、研修効果をあげることを目的として、分割開催も可能で、コース開始日と最終日は暦日で 30 日間以内とします。また、後半の研修コースの冒頭に前回の研修を振り返る時間を設けて、研修の連続性を確保する必要があります。（振り返りの時間は 40 時間に含めない）
- (4) インハウス開催(講師派遣)をご希望の場合 4 名以上の受講生で研修会場の準備をお願いします。
- (5) 合格者には合格修了証が発行されますので JRCA 登録手続きにより登録証が発行されます。

セッションプラン概要

日	研修内容	日	研修内容
1	ISMS 適合性評価制度について 情報セキュリティマネジメントシステムについて 情報セキュリティマネジメントシステムの構造 ISO/IEC 27001:2022 箇条の理解	4	ふりかえり 監査（審査）活動の準備 監査（審査）活動の実施 監査の実務考察
2	リスクマネジメントプロセス リスクマネジメント用語及び定義 リスクアセスメント/リスク対応 リスク特定と管理策演習	5	監査（審査）中のコミュニケーション 所見の記述 不適合及び改善の機会抽出（記述演習） 実技評価（不適合の記述）
3	情報セキュリティ管理策とは 管理策の選択 ISO/IEC 27001 附属書 A 管理策解説 ISO/IEC 19011 監査（審査）の指針 解説	6	最終会議の実施 実技評価（不適合の記述）内容の提示（発表） サーベイランス審査/再認証審査について JRCA 筆記試験実施



ISMS-CLS（クラウドセキュリティ審査員）フォーマル研修 ISO/IEC 27017:2015 対応

受講料：ISMS-CLS フォーマル研修 98,000 円（会員価格 88,000 円）別途消費税

教材費（冊子・学習支援システム利用料）・受講料・JRCA 筆記試験受験料を含みます。

MSQA 会員からのご紹介でご受講の場合は特別割引が適用されます。

受講申請：1.[JRCA 承認フォーマル研修受講申込書(pdf フォーム)]に必要事項を記載し事務局に送信

2.請求書発行（原則開催 2 週間前までにお振込み）

受講条件：1.オープンコースは 1 名からご受講可能です

2.クラウドセキュリティについて基礎から学習可能です（未経験者の受講可能）

3.2 日間の学習が求められますので指定会場で全日受講しなければなりません

4.資格（日本要員認証協会[JRCA]）登録に条件があります。

開催月	開催日程	開催方法	開催時間	状況
2025 年 6 月	26 日 ～ 27 日	オープンコース MSQA 研修室 一通学	9:00 ～ 18:00	残席 5
2025 年 7 月	22 日 ～ 23 日	企業内（インハウス）開催	9:00 ～ 18:00	—
2025 年 11 月	13 日 ～ 14 日	オープンコース MSQA 研修室 一通学	9:00 ～ 18:00	受付中
2026 年 1 月	15 日 ～ 16 日	オープンコース MSQA 研修室 一通学	9:00 ～ 18:00	受付

(1) インハウス開催をご希望の場合 4 名以上の受講生で研修会場の準備をお願いします。

(2) 筆記試験結果は 1 ヶ月後に JRCA から MSQA に届きます。

(3) 合格者には合格修了証が発行されますので JRC A 登録手続きにより登録証が発行されます。

セッションプラン概要

1	ISMS-CLS 適合性評価制度について ISO/IEC 27017 制定の背景及び経緯 ISMS クラウドセキュリティ 認証とその実務 クラウドコンピューティング用語および定義	2	クラウドサービスの特性と技術技術的背景 JIS Q 27017 解説 総合演習 JRCA 筆記試験実施
---	--	---	--



一般社団法人マネジメントシステム品質協会

JRCA 承認研修機関

マネジメントシステムの健全な普及促進で経済社会の進歩発展に貢献します

東京都台東区台東 1-11-10 大木ビル コース講師：MSQA 理事 中西孝治

本コースや受講申請については MSQA 事務局までお問い合わせください： info@msqa.jp